

事業名 **田上町地域安全マップづくり講習会**
～ キーワードは「入りやすく、見えにくい場所」を知る ～

趣 旨 犯罪が起りやすい場所（危険）とはどのようなところなのか、どのような場所が安全なのかを“まち歩きによる「安全マップ」の作製”を通じて認識し、子どもたちを巡る環境をどのように確立していけばいいのかを学ぶ。

実施主体 田上町・田上町教育委員会

参加対象 地域の安心安全隊のみなさん、学校関係者、PTA 等

参加者数 30名（スタッフ含む）

回 数 1回 日 数 1日 時 間 6時間

場 所 田上町公民館 他

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月27日（火） 10：00～16：00	「田上町地域安全マップづくり講習会」 ～キーワードは「入りやすく見えにくい場所」を知る～	新潟県警察本部 犯罪抑止総合対策室 同係長 堀 廣
	内容・方法	<p>○「地域安全マップづくり講習会～キーワードは『入りやすく、見えにくい場所を知る』～」と題し、犯罪社会学で著名な立正大学小宮信夫教授のDVDを見ながら、犯罪はどのような場所で起りやすいのか、またなぜ『安全マップ』を作製することが必要であり、有効であるのか講義を行った。</p> <p>○午後は実際に講義いただいたことを実践するため、4つのグループ（5～6人で編成）に分かれて1時間程度の『まち歩き』、その後マップづくり・発表、講師から講評をいただいた。</p>	

成 果

- ・ 講義の中で、犯罪には、犯罪者の異常な性格や置かれている環境などにより、その犯罪が起き、その原因を治すことで犯罪をなくす『犯罪原因論』と犯罪の機会をなくすことで犯罪を減らす『犯罪機会論』の2つがあり、後者の考え方が欧米では犯罪抑制に効果的であることが実証され、その考え方に基づいて作製されたものが『地域安全マップ』であることがわかり、マップの作製は「犯罪に遭わないように（遭いにくくする）する」、「犯罪機会を作らせない方法」の取り組みとして、非常に有効であることがわかった。また、実際に『まち歩き』を行い、グループごとにワークショップ形式でのマップ作製により、さらに認識が高まった。早速いくつかの地域・学校でも実践したいとの声があがった。
- ・ 今回の講習会実施にあたり、参加者はスタッフ含め30名であったが、もともと次年度地域及び学校PTAを主体としてマップ作製を促し、地域の犯罪抑制能力を高めたいとのねらいがあり、今回は指導者育成のための開催であったことから、一定の評価はできた。

課 題

- ・ 成果でも述べたように、今後地域及び学校PTAが定期的に『地域安全マップ』作製を通じ、防犯意識の向上及び危険を回避する能力を養う必要があり、継続性が求められる。
- ・ 防犯は、行政・地域・学校など非常に身近な問題であり、今以上に連携を図る必要がある。

問合せ先 田上町教育委員会 生涯学習係（担当：佐藤 正） TEL0256-57-6114